

インキ事業説明会

東洋インキ株式会社 インキ事業説明会 開催日：2026年2月20日
インキ事業説明会資料 公開日：2026年2月19日

1

環境対応を原動力に
インキ事業は、更なる成長ステージへ

2

未来を見据えた一手を
国内外の成長市場へ、戦略的に投資

3

印刷インキで磨いた技術が、新しい価値を生み出す

本日のご説明内容

- グローバルで成長するパッケージ用インキ
- リキッドインキの成長戦略
- 環境貢献するUVインキ
- サステナブルな世の中に貢献する取り組み
- 新規用途への新たな展開

本日のご説明内容

- グローバルで成長するパッケージ用インキ
- リキッドインキの成長戦略
- 環境貢献するUVインキ
- サステナブルな世の中に貢献する取り組み
- 新規用途への新たな展開

セグメント

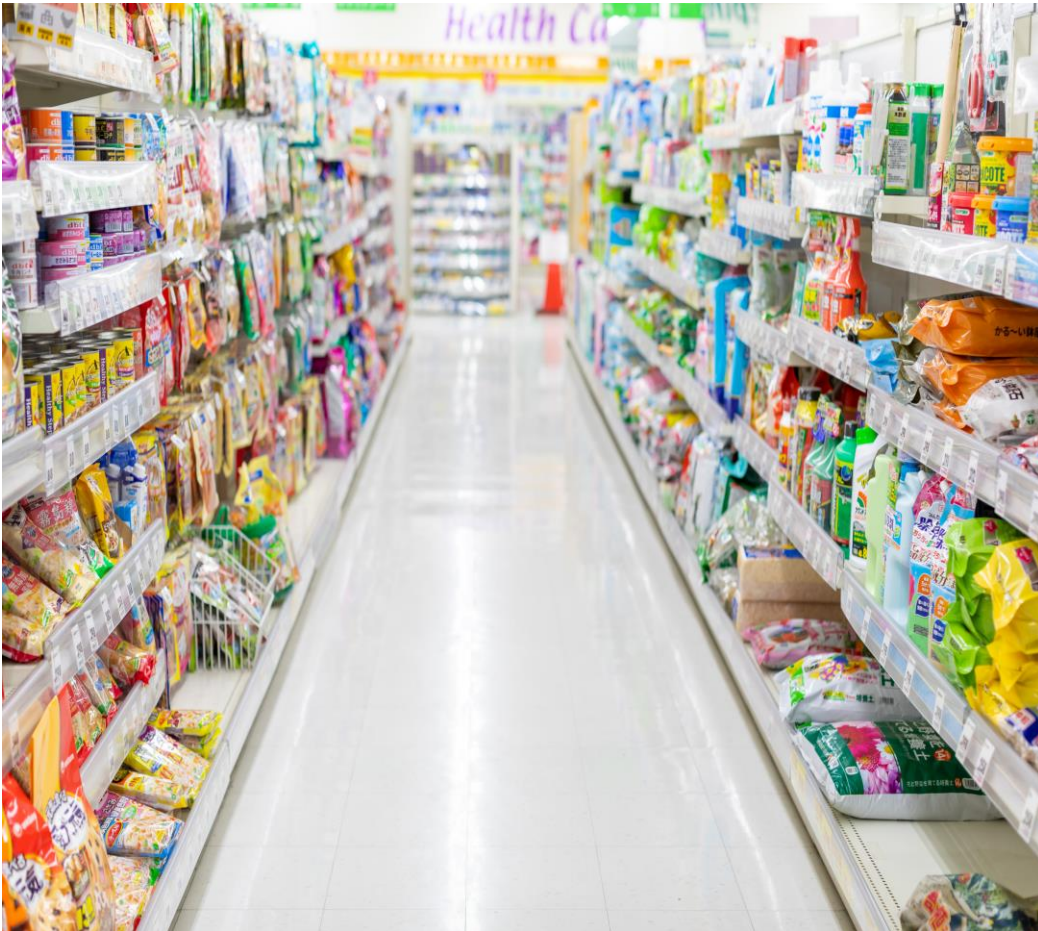
	サブセグメント	主な製品	主な用途
パッケージ	リキッドインキ	グラビアインキ、 フレキソインキ	フィルム包材 (食品パッケージ、日用品詰め替え) 建材 サニタリー、段ボール、紙袋
	グラビア機器 ・製版	グラビア機器、製販	



印刷・情報	オフセットインキ (一般インキ)	オフセットインキ、 新聞インキ	書籍、新聞、チラシ、紙器
	機能性インキ	UVインキ 金属インキ スクリーンインキ	紙器、ラベル、カード、書籍 飲料缶、食缶 エレクトロニクス、ステッカー
	印刷材料・機器	オフセット印刷材料、 印刷検査装置	



パッケージ用インキ



■ パッケージ用インキ市場拡大

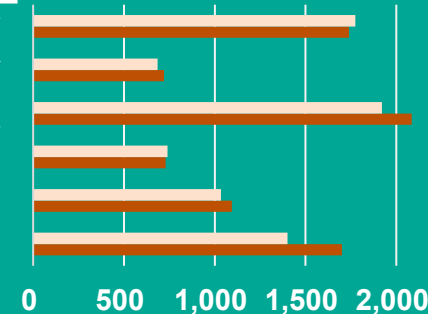
- ・ 不景気でも需要低迷しにくく、安定
- ・ 新興国を中心に、人口増加や経済成長に比例して市場が拡大
- ・ 将来的に環境ニーズが高まる見通し

日本の革新技術はこれから世界へ！

世界人口推移

日本・東アジア
東南アジア
インド・中東
欧州
北米・中南米
アフリカ

(百万人)



■ 2022年 ■ 2030年

想定平均GDP成長率

・ 中国	: <u>4.5%</u>	・ 日本	: 1.2%
・ ASEAN	: <u>4.3%</u>		
・ インド	: <u>6.8%</u>	・ 中東	: 3.8%
・ 欧州	: 2.5%	・ 欧州	: 2.5%
・ 北米	: 2.0%	・ 中南米	: 2.4%
・ アフリカ	: <u>4.0%</u>		

出展 UN WPP 2024

パッケージ用インキ

【紙パッケージ用途】
UVインキ
+オフセットインキ

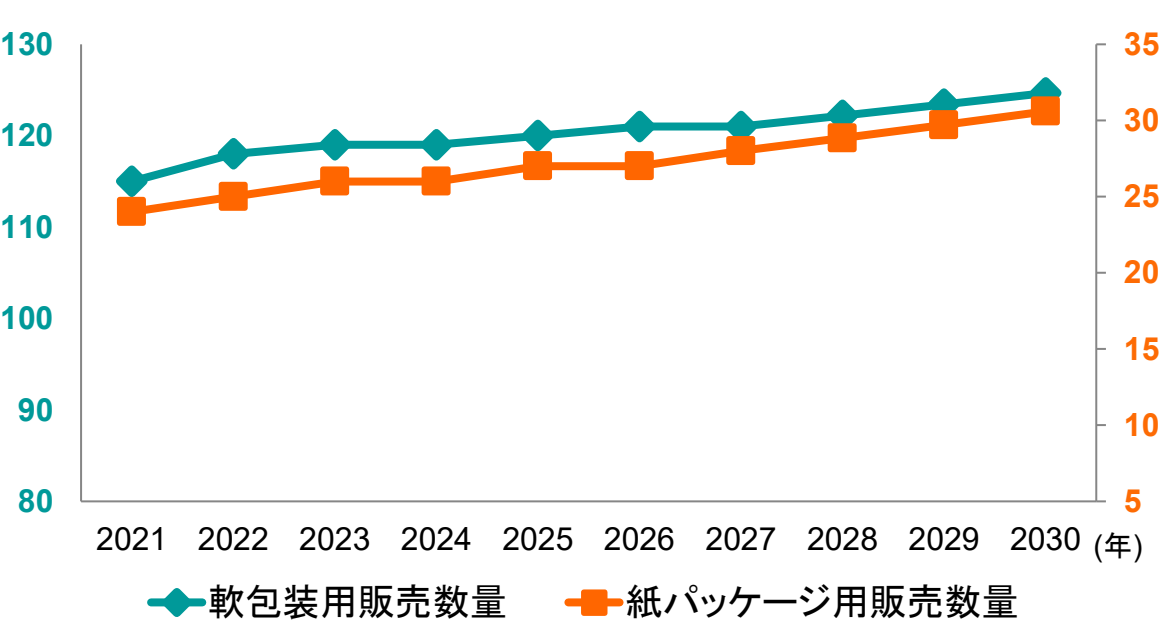


【軟包装用途】
リキッドインキ



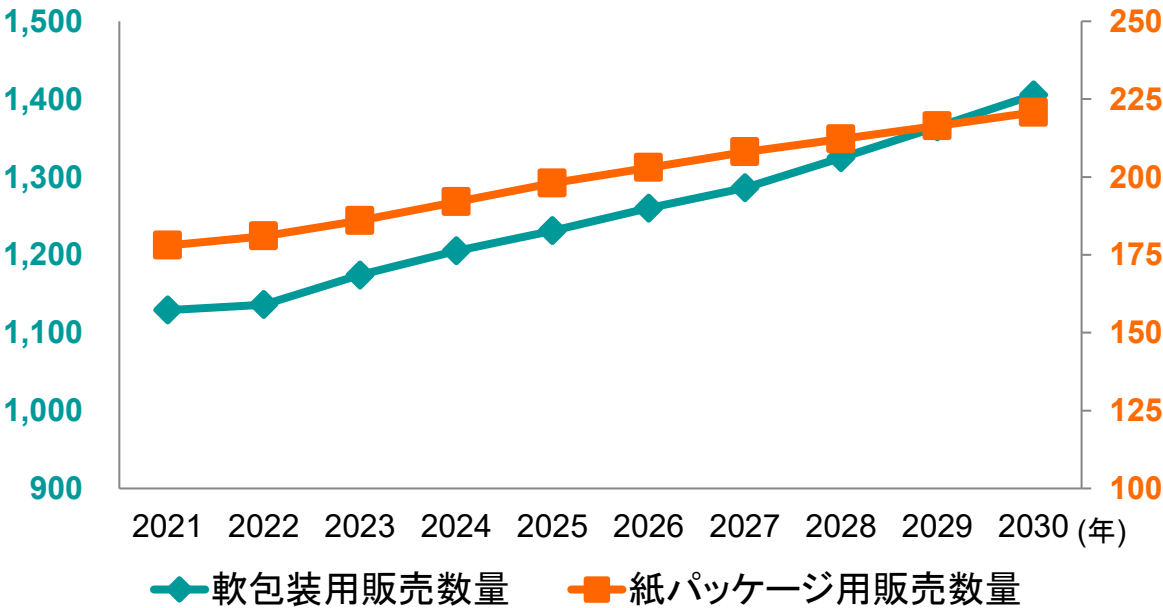
国内市場

(単位：千トン)



世界市場

(単位：千トン)



2021～2027年は富士経済「環境対応が進む印刷インキ関連市場の全貌2023」予測、以降は当社予測



インキの素材コア技術

東洋インキ



分散技術、機能付加

トーヨーケム



ポリマー樹脂
合成技術

トーヨーカラー



顔料(色材)
合成技術

印刷関連材料と技術

東洋インキ

パッケージ用インキ

東洋FPP

製版

東洋モートン

ラミネート接着剤

本日のご説明内容

- 世界で成長するパッケージ用インキ
- リキッドインキ成長戦略
- 環境貢献するUVインキ
- サステナブルな世の中に貢献する取り組み
- 新規用途への新たな展開



国内グラビアインキ市場シェア

■環境対応製品の積極展開

業界のリーディングカンパニーとしてバイオマスインキ、水性インキをいち早く市場に展開



■ニーズに応える高い技術力

市場ニーズと使いやすさを両立した製品設計

artience

グラビアインキ市場国内シェアNo.1！

(ラミネート用インキ、パッケージ用接着剤シェアNo.1)

市場シェアは2025年 自社調査結果に基づくデータ

海外で使われるパッケージ用インキの違い

パッケージ特徴(欧米)
・フレキソ、グラビア、表刷、裏刷など多種多様

パッケージ特徴(アジア)
・グラビア、裏刷構成が主流

※NCインキ（欧米主流）

ウレタンインキ（アジア主流）

設計思想：運用効率の最適化

顧客が色と物性をカスタマイズ

- ・必要な時に必要な量を生産
→インキ在庫圧縮、デリバリー短縮可能



NCベース
インキ
(色)

テクニカル
ワニス
(物性)

最終
インキ

設計思想：高物性、高耐性の最適化

高物性

- ・一種類で耐熱性とレトルト耐性カバー



レトルト

詰め替え

スナック

※NC=ニトロセルロース

NCインキ：必要量を柔軟に生産可能

ウレタンインキ：多用途に対応

重点エリアへの積極投資



市場シェアは2025年 自社調査結果に基づくデータ

- 海外：成長市場であるインド、要所であるトルコ、中国に投資を行い、海外ビジネスを拡大！
 - 国内：成熟市場であるが、スマートファクトリー化による働き方改革を促進！
- ⇒ パッケージセグメントはグローバルで2030年までに営業利益30%増加を目指す！

本日のご説明内容

- 世界で成長するパッケージ用インキ
- リキッドインキの成長戦略
- 環境貢献するUVインキ
- サステナブルな世の中に貢献する取り組み
- 新規用途への新たな展開



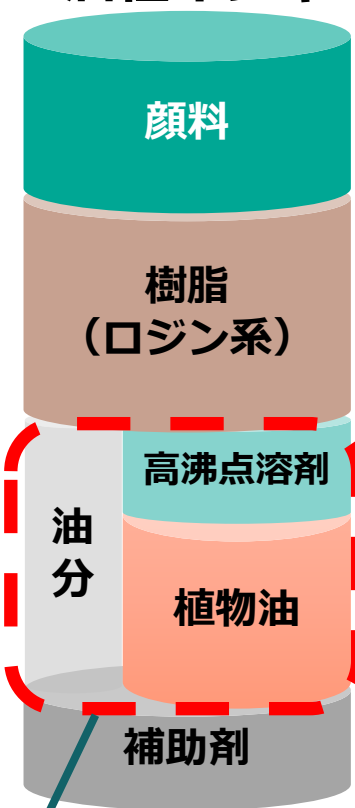
UVインキの特徴と用途

UVインキと油性インキの違い

UVインキ



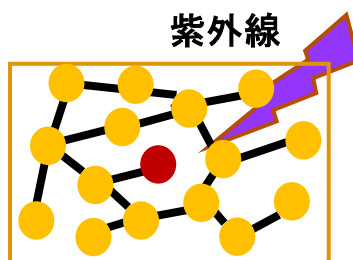
油性インキ



溶剤成分を含む

UVインキのメリット

瞬間硬化



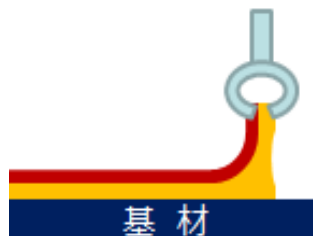
高い生産性

無溶剤



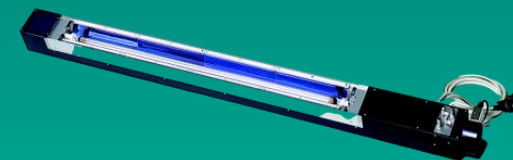
作業環境改善
環境負荷低減

耐久性



紙にもプラスチックにも印刷可能

UV印刷の台頭



画像提供元：岩崎電気様



UVインキの特徴と用途

UVインキのメリットを活かし、多種多様な用途で利用される

【紙パッケージ】



【カード】



【商業印刷・情報出版】



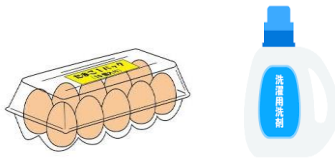
【ビジネスフォーム】



【クリアファイル, ケース】



【シール・ラベル】



【プラカップ】



【ボトルキャップ】



需要が安定、伸長しており、当社の注力分野。

【商業印刷、情報出版】

インキ使用量が最も多い。
油性からの置換えが進む。
⇒シェアNo.1の維持。

【紙パッケージ】

【カード】

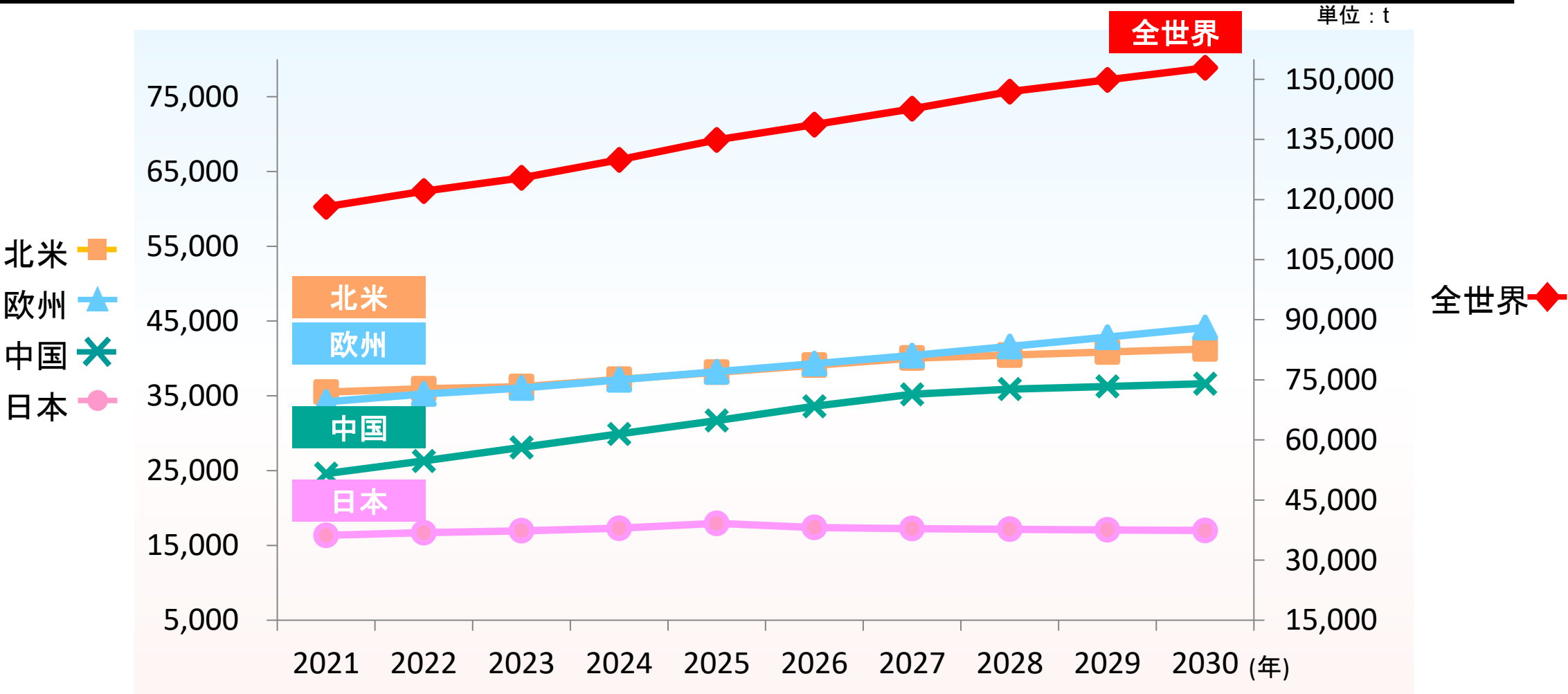
【シール・ラベル】

【プラカップ】

食品、医薬、カード用途が
主で需要安定。

⇒注力分野。更なるシェア拡大。

世界のUVインキ市場規模



2021～2027年は富士経済「環境対応が進む印刷インキ関連市場の全貌2023」予測、以降は当社予測

【国内】

2026年以降は商業印刷のUV化が一段落し全体として微減と予想。但し、パッケージ、ラベルは堅調と見込まれる。

【海外】

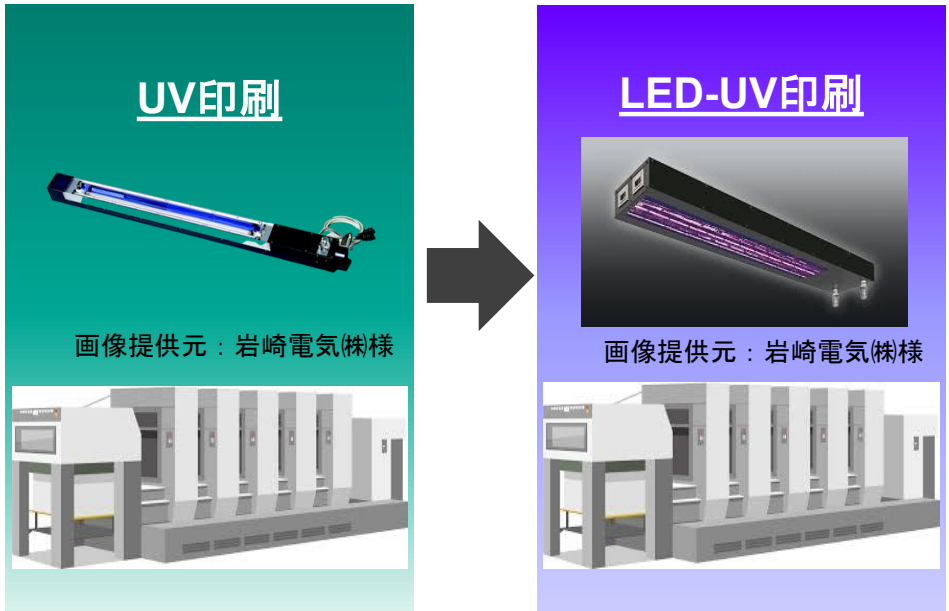
成長率はCAGRで3%の予想で、市場は拡大が見込まれている。

UV印刷市場の取り組み



省エネ印刷設備の導入

LEDランプ、印刷機サイズダウン等の
エネルギー消費も抑制が可能な設備投資が活発



環境配慮素材の採用

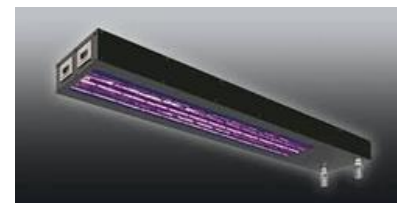
持続可能な森林管理から生産されたFSC認証紙
や、バイオマス素材を使用したバイオマスイン
キの採用が活発



印刷会社ニーズにマッチした次世代UVインキ ～LEDランプ対応バイオマスインキ～

LEDランプとの高い親和性

照射量の少ないLEDランプでも瞬時に硬化



画像提供元：岩崎電気(株)様

生物由来原料の使用

再生可能な生物由来原料を10%以上含有



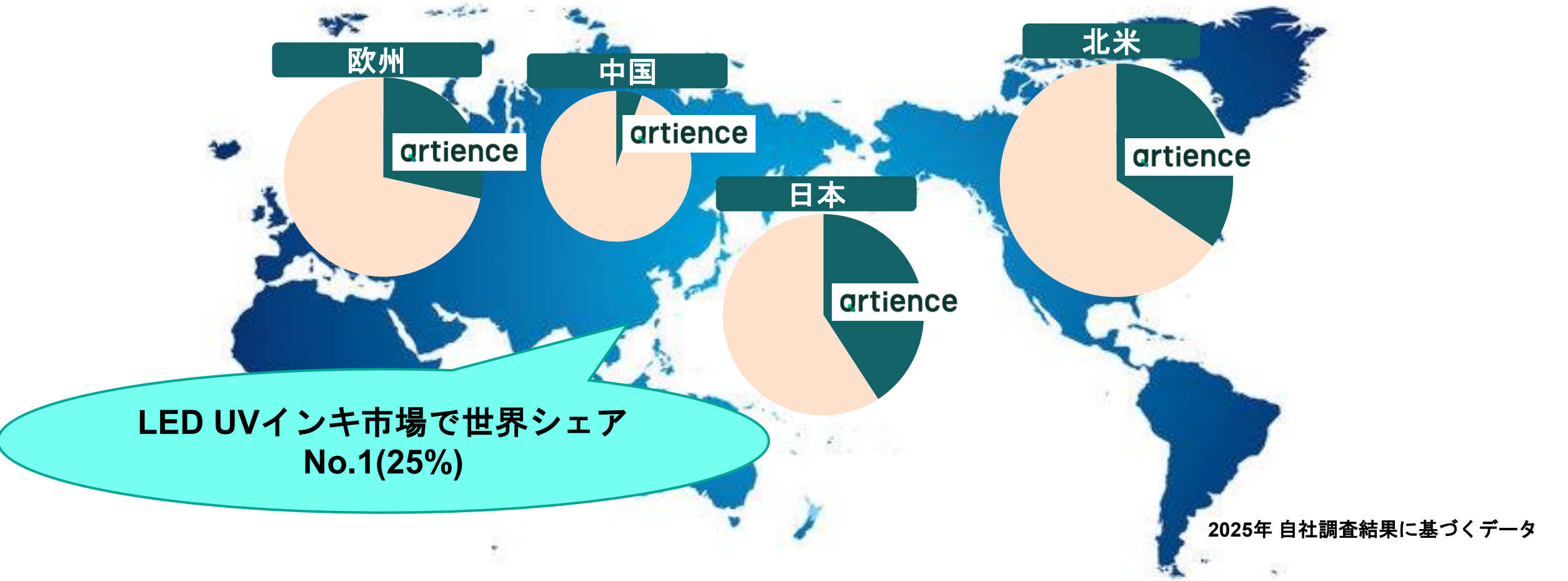
印刷インキに使用される
バイオマス原料

当社の強み

- 業界に先駆けてLEDインキを市場投入した技術開発力
- キーマテリアルとなる独自素材を自社生産し、品質差別化（硬化性、印刷適性）による競争力を確保



海外主要エリアのLED UV印刷市場



2030年度までにグローバルでUVインキ品種の営業利益を60%増加を目指す！

本日のご説明内容

- 世界で成長するパッケージ用インキ
- リキッドインキの成長戦略
- 環境貢献するUVインキ
- サステナブルな世の中に貢献する取り組み
- 新規用途への新たな展開

未来のパッケージのトレンド

✓パッケージの未来：これから包装容器は資源に

従来構成（例）



表フィルム
(OPP,PET,NY)

インキ

一般
ラミネート接着剤
シーラントフィルム
(CPP,PE)

従来構成では、透明プラスチックリサイクルは困難。

より高品質なプラスチックリサイクル実現に向け、洗浄・脱墨・異素材分離・再生等のプロセス開発ならびに生産機の開発

■相川鉄工(株)様、萩原工業(株)様と
共同開発契約を締結

剥離・脱墨構成



表フィルム
(OPP,PET,NY)

脱墨用
コーティング剤

追加

インキ

剥離用
ラミネート接着剤
シーラントフィルム
(CPP,PE)

置換



脱墨前フラフ

剥離・脱墨処理

回収

表フィルム (OPP)

シーラントフィルム
(CPP,PE)

インキ

除去



脱墨後フラフ

剥離脱墨リサイクルの具体的な取り組み事例

リサイクル性を向上させた詰め替えパックの初の製品化



本日のご説明内容

- 世界で成長するパッケージ用インキ
- リキッドインキの成長戦略
- 環境貢献するUVインキ
- サステナブルな世の中に貢献する取り組み
- 新規用途への新たな展開



当社の保有技術を新たな市場へ

CONFIDENTIAL

オプトエレクトロニクス市場への参入・実績化

スクリーンインキ、各種印刷技術

- ・スクリーン、パッド、ディスプレイ印刷等
- ・特殊加飾・意匠性付与技術

既存技術の応用展開

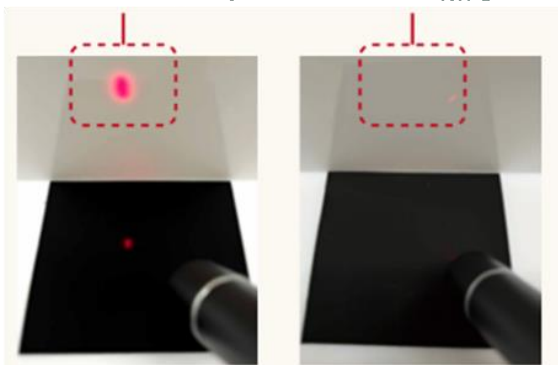
光学制御技術

- ・遮光、反射制御
- ・波長制御

工業材周辺の各種知見

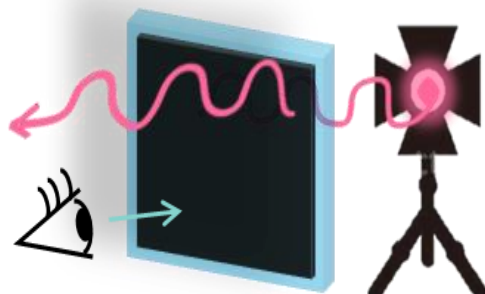
- ・高耐久性（建材、自動車）
- ・幅広い基材対応

レーザーポインターからの反射
反射光あり 反射光無し



見た目は黒、赤外線は透過

反射制御



波長制御

低反射墨インキ



レンズのエッジ、レンズ鏡筒
プリムレンズの側面等に塗工

フレア・ゴーストの除去



赤外透過墨インキ



スマホ、スマートドアロック等の
顔認識システム



赤外線カメラ・
センサの目隠し
意匠と機能の両立



ドライバーモニタリング
システム(DMS)

2024年に実績化、2026年に倍増を目指す

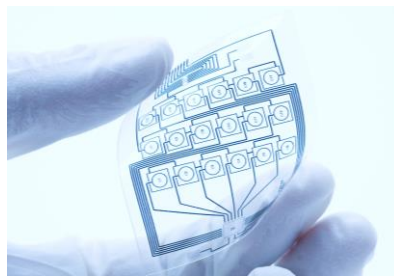
当社の保有技術を新たな市場へ

CONFIDENTIAL

プリントドエレクトロニクス技術による センサデバイス

導電材料設計技術

- ・高濃度導電フィラー分散による低抵抗値化技術
- ・電気特性確保と印刷に必要な粘弾性付与の両立



培った技術を応用、センサビジネスに挑戦！

センサ電極回路形成技術

- ・ファインパターン印刷技術
- ・基材密着性／ラミネート知見



回路印刷



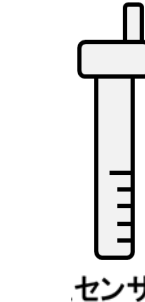
センサ電極



センサデバイス

加工度upによる付加価値向上

artience



市場ニーズに合わせた
センサデバイス設計



PC、タブレット
スマートフォン

水位 湿度
水温 気温

温度、湿度、ひずみなど状態変化をセンシング

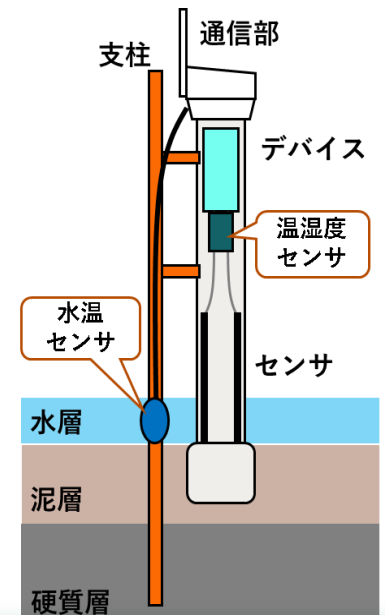
実証例 水田水位センサ

稲作の課題

- ・生産者の減少（高齢化）
- ・管理面積の拡大
- ・育成時期毎の水位管理の煩雑さ（害虫 ジャンボタニシなど）防除

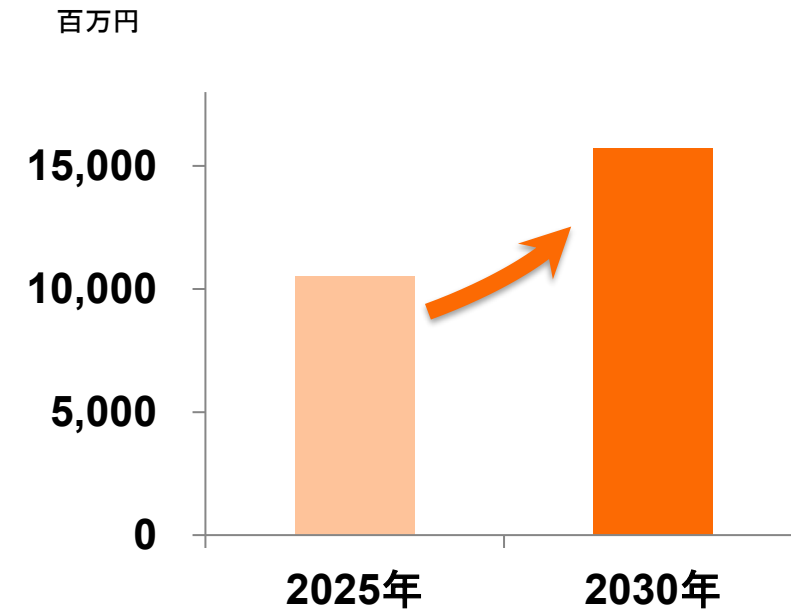
1cm単位で管理可能な高精度センサを開発

- ・稲を害虫から予防予防
- ・収量の向上
- ・メタンガスの発生抑制
- ・Jクレジット活用による収益向上



2027年社会実装に向けて農家・農業法人との実証実験継続

最後にお伝えしたいこと



**リーディングカンパニーとして期待を超える価値を市場に提供
2030年までにインキ事業をグローバルで営業利益目標50%増加を目指す！**